

2010年9月15日

関係各位

会社名 高千穂交易株式会社
代表者名 代表取締役社長 戸田 秀雄
(証券コード 2676 東証第1部)
問合せ先 取締役 執行役員
経営システム本部長 広木 邦昭
電 話 03-3355-1111

高千穂交易、米国インターリンク エレクトロニクス社と代理店契約締結
耐久性と信頼性に優れた『FSR® 感圧センサー』のカスタムデザイン活動を開始
～ FSR®技術が、信頼性と精度に優れたタッチ・コントロールを実現します ～

高千穂交易株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:戸田秀雄、証券コード 2676)は、特許技術である FSR®(Force Sensing Resistor:感圧抵抗技術)の開発元で、応用製品の設計・製造を行う米国インターリンク エレクトロニクス社(以下、インターリンク社)と代理店契約を締結し、『FSR® 感圧センサー』の販売を開始しました。

インターリンク社の『FSR® 感圧センサー』は、感圧部に加わる圧力の増加に伴い、電気的抵抗がリニアに減少する特性を持ち※、携帯電話やタッチパネル、スイッチ、マウスといった機器と人とを繋ぐヒューマンタッチインターフェースとして、確実かつ快適な操作性を実現し、世界で数多くの採用実績を誇るセンサーデバイスです。

同製品は、一般的な静電容量式のセンサーに比べ、静電気による誤作動がないため信頼性が高く、手袋を着けた状態でも操作が可能なことや、湿気や液体、粉塵の影響を受け難いことなどから、工事現場等の過酷な環境や、医療現場等において幅広く活用されています。また、待機・動作時の消費電力が静電容量式センサーの約 100 分の1となるなど、機器におけるバッテリー駆動時間の延長にも寄与いたします。

さらに、『FSR® 感圧センサー』は、ストレインゲージ等の圧力検知デバイスと異なり、厚さ 0.2mm(標準品)の極薄なフィルム形状であるため、シームレスでコンパクトなボタン設計を可能にするなど、デザイン性を損なうことなく、電子機器の小型・薄型・軽量化に貢献することができます。加えて同製品は、可動部品がなく 200 万回以上の加圧使用が可能なため、従来の接点スイッチと比較し、機器本体の耐久性が大幅に向上いたします。

インターリンク社では、FSR®技術を駆使し、「ポインティング(方向+圧力)」や、「ストリップ・リングセンサー(リニア位置+圧力)」、「タッチパッド(平面上の位置+圧力)」など、様々な入力デバイスを市場に提供していますが、今後は、これら標準品の販売はもとより、お客様のニーズに即したカスタマイズ提案を積極的に展開していく方針です。

高千穂交易は、『FSR® 感圧センサー』の販売および同製品のカスタムデザイン活動を通じて、携帯端末等の民生品や産業・医療機器市場のほか、これまで感圧センサーを使用していなかったアプリケーションに対しても精力的にアプローチを図り、2012 年度には 2 億円の売上を目指します。

※ FSR は、ストレインゲージと特性が類似していますが、重量を測定する用途には適しておりません。

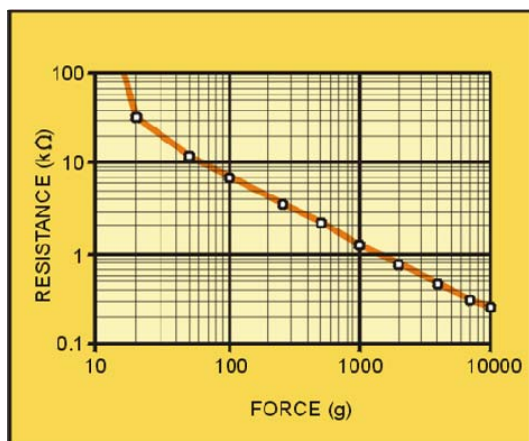
【FSR® 感圧センサー標準品】



【FSR® 感圧センサー形状例】



【加圧力に対する抵抗値の変化】



【FSR®の用途】

- ・存在検知
- ・モーションストップ
- ・ON/OFF や多段のスイッチ
- ・アクセルコントロール
- ・タッチ位置 (リニアまたは平面) + 圧力センサー

【FSR®の特長】

- ・高いリニアリティ(上記グラフ「加圧力に対する抵抗値の変化」参照)
 - ・極薄(0.2mm)
 - ・可動部品がなく高い信頼性(200万回以上の加圧可:インターリンク社調べ)
 - ・静電気耐性
 - ・水分、汚れ等にも強い耐久性
 - ・低消費電力
- ※ 硬い材質の下でも使える高感度対応版(プリロードセンサー)対応可。

【インターリンク エレクトロニクス社 (INTERLINK ELECTRONICS Inc.) について】

- ・設立 : 1985 年
- ・本社 : 米国 カリフォルニア州 カマリロ (Camarillo)
- ・拠点 : 中国 (シンセン)、日本、香港、韓国
- ・従業員数 : 85 名 (2010 年 4 月)
- ・URL : <http://www.interlinkelec.co.jp/>

■このニュースリリースに対するお問い合わせ

高千穂交易株式会社

経営システム本部 コーポレートチーム 田中まで

TEL: 03-3355-1125

E-mail: ktanaka@takachiho-kk.co.jp